

# 進路通信

No.15

## 出願にあたって

出願は、3種類に分かれます。

### ①高校の窓口まで行って出願する学校…長尾谷、近畿情報、大阪つくば開成

1/25(火)の卒業末テスト2日目の昼食後に私立窓口出願者の出願者集会をします。

1/25(火)出願の人は、ER教室に集まってください。各自で交通費と経路を調べておくこと!

### ②個人で郵送する学校…明星、大阪商業大学、大阪青凌、関西創価、近畿大学附属、金光藤蔭、

星翔、東大阪大学敬愛、桃山学院、京都大谷、京都女子、京都産業大学附属、京都西山、京都成章

1/19(火)に担任から出願書類一式の入った封筒を受け取り、出願期間を確認して郵便局へ行って

「簡易書留」で郵送すること。封筒は、開けると無効になります。絶対に開けないこと。

### ③中学校から一括して高校に郵送する学校…大阪成蹊女子、四天王寺、大阪国際、大阪産業

大学附属、大阪電気通信大学、大阪桐蔭、香里ヌヴェール学院、四條畷学園、常翔学園、常翔啓光

学園、太成学院大学、東海大学附属大阪仰星、京都橘

1/18(火)の願書点検で不備があれば担任から連絡します。

## ※窓口一斉出願日・25日(火)の日程

1~4 限目 卒業テスト2日目

12:40~12:50 終礼

12:50~13:15 昼食

13:20~ 出願者集会(1階ER) 窓口出願の人のみERに集合、その他の人は静かに下校(他学年は授業です)

【集会の内容】 個人報告書と願書を受け取る。(個人報告書の封筒は、絶対に開けないこと)

最終注意…メンバー確認・持ち物・服装最終点検

担当の先生の指示に従い出発。各学年授業のため、静かに移動すること。

窓口出願の学校は、各自の学校で作成する個人報告書の入った封筒を集会時に渡すので出願の際、願書と一緒に高校の窓口で渡すこと。

## ☆持ち物

□ カバン

□ 出願書類(願書・可否通知用封筒、個人報告書 推薦書など)  
・書類が全部そろっているか、校長印・保護者印が押してあるかを確認する。  
・クリアファイルに入れた状態で、必ずカバンに入れる。

□ お金・交通費(券売機が混むのでなるべくイコカ、ピタパなどを用意しておくこと) + α・緊急の連絡用に、小銭(携帯電話は不可)

□ 願書記入に使用したペン(間違いを指摘されたときの訂正用です。)

## ☆高校への行き帰り

□ 同じ学校へ行く人達と必ず同一行動をとること。絶対、ばらばらにならない

□ 出願が終われば、寄り道せずまっすぐ帰校する。

□ 駅のホーム・電車の中・道を歩いている時など、他の人に迷惑をかけない。

□ 事故のないように。(交通ルールを守ること)

□ 入試当日に備えて、電車の所要時間、時刻表を確認してくる。

※当日の集合時間の20分前までに到着するように計画する。

## ☆高校に着いたら

①受付に行き、静かに並ぶ。原則クラス・出席番号の若い順。

②代表者(先頭の人)が、  
「枚方市立中宮中学校です。出願に来ました。よろしくお願ひします。」  
と言って、自分の願書・個人報告書をクリアファイルから出して提出する。

③並んだ順(クラス・出席番号の若い順)に出願する。

④受験票を受け取ったら学科などにまちがいがいか確認し、クリアファイルにはさむ。

⑤全員が出願を終えるまでうしろで静かに待つ。(全員がそろって帰る)

⑥もし中宮中への帰校が5時すぎるようであれば、中宮中に駅等にある公衆電話で連絡すること

## ☆中宮中に帰ったら

全員でまとまって、職員室に行き担当の先生に受験番号を報告する。  
(受験番号順に一人ひとり自分で受験票を見せて、報告すること)

## ☆家に帰ったら

□ 受験票は大事に保管する。  
・入試、合格発表、入学手続き等に必要です。絶対になくさないこと。  
・念のため、受験番号は別に控えておくこと。

□ 入試当日の指示・注意事項などを書いたプリントを渡される学校もあります。  
よく読み、入試当日まで大切に保管すること。

## ☆欠席で生徒本人が出願できない場合は、保護者の方に代理出

### 願をお願いします。

\*\*\*\*\*

困ったことがあれば中宮中へ電話するか、してもらうこと。

TEL 050-7102-9210 か 070-2299-4255

※学校の電話番号を、必ず控えて行くこと。

\*\*\*\*\*

# 面接

受験で面接がある人はもちろんのこと、将来働く際に面接は欠かせません。3学期に、面接についての進路学習を予定してありますが、進路通信でも少しずつ配信していきますね。では、第1弾です。

## 1 面接のおもな形式

### ポイント

面接にはおもにふたつの形式があります。

- ① ひとりずつ行う個人面接
  - ② 3～5名ずつのグループに分かれて行うグループ面接
- どちらも、受験生ひとりひとりの人がらをじゅうぶんつかむことがねらいです。また、受験生と保護者がいっしょに面接を受ける、保護者同伴面接などもあります。



### ① 個人面接

ひとりの受験生に対して、ひとりまたは複数の面接官で面接が行われます。時間は3～10分程度です。ひとりだからといって、固くなることはありません。リラックスして面接を受けましょう。

- メリット ●  
くらゐ受験生がいないので、自分の意見が言いやすい。



### ポイント1

質問される先生のほかに顔や視線を向けて話す。

### ポイント2

リラックスして、ハキハキと答える。



## 2 面接官はここを見ている

### ポイント



面接は、ことばづかいや意見を見たりして、その人の人がらややる気を判断するために行われます。はっきりしたことばづかいで、何にも前向きに、高校生活への熱意・意欲を表すことが大切です。

### 面接官はどなたをどのくらい見ているか

- 熱意・意欲 ●  
本気でこの学校に入りたいという熱意・意欲をもっているか。  
(志望校の教育方針、校風などを調べ、学校のどこに魅力を感じているのか、また、入学したら何をしたいのかを述べる。)
- 態度 ●  
きびぎびした動作をとることができるか。  
(面接室への入りかた、面接中の姿勢、退室のしかたまで。)
- 中学生らしい服装をしているか。 (→P.6)
- ことばづかいがきちんとしてきているか。 (→P.14)



### ② グループ面接

受験生3～5名がひとつのグループになり、ひとりまたは複数の面接官で面接が行われるのが一般的です。ほかに、学校によってはさまざまな面接の形態があります。時間は10～15分程度です。面接官がひとつの質問を順番にたずねたり、受験生が質問に対して挙手をして答えたりします。また、あるテーマについて討論をする場合もあります。

- メリット ●  
仲間がいるので、個人面接にくらべ、緊張感が少ない。



### ポイント1

人の意見につられないように、積極的に、自分の意見を話す。

### ポイント2

ほかの受験生が答えているときは、しっかりと聞く。

### ポイント3

討論は、どちらの立場に立ってもよい。自分の考えを伝えることが大切。

ほかにも、立ったまま面接を受けるものや、一会場ですぐグループの面接を一度に行う形態などがあります。

### アドバイス

Q 短い時間の面接で、本当に評価できるのですか？

A 面接官の先生は、多くの受験生を見てきています。2～3分も話せば、受験生の本当の姿を見ぬき、「うそ」や「その場かぎり」は、すぐにわかってしまいます。特にことばづかいは、日ごろから心がけていないと、すぐにわかってしまうので、注意しましょう。



### 積極性

- 自分のことを理解してもらおうための努力をしているか。
- 進んで自分の意見や考えを発表できるか。



### 協調性

- ほかの受験生と仲よく話し合うことができるか。  
(ほかの生徒と協力して、学校生活ができるかを見られる。)



### 熱意・意欲



### アドバイス

- ① 欠点をプラスに転ずる方法 一前向きな姿勢で答えましょう。不得意教科を聞かれたとき、一〜が苦手です。ですから、これからもっと勉強して克服したいと考えています。
- ② 自分の短所を聞かれたとき 一短気なところですが、ですから、冷静さを保てるように努力したいと思っています。

